安全データシート

日付: 2015年8月18日

化学物質等及び会社情報

製品コード　　化学物質等の名称 サビプロテクター　480ml

会 社 名　株式会社ザックジャパンカンパニー

住　　所　福井市成和1丁目2101-4

担当部門
電話番号　0776-27-5524　FAX番0776-27-1182
受付時間

危険有害性の要約

[重要危険有害性]
高圧ガスが入っている。加熱・衝撃等により破裂する危険性がある。
燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。
液化ガスが、皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす。
高温になると引火、燃焼の恐れがある。

[GHS分類]
可燃性／引火性エアゾール　:区分 1
引火性液体　経口　:区分 4

記載のないものは分類対象外または分類できない

[GHSラベル要素]

危険

[危険有害性情報]
極めて可燃性・引火性の高いエアゾール
高圧容器:熱すると破裂のおそれ
可燃性液体

組成及び成分情報

[成分及び含有量](危険有害物質を対象)

成分名	CAS. NO	含有量(wt%)	備　考
ｲｿﾊﾟﾗﾌｨﾝ(C13～C16	68551-20-2	60 ～ 70	
防錆剤	企業秘密	10 ～ 20	
ｲｿﾌﾞﾀﾝ	75-28-5	1 ～ 10	労安法通知対象物質　噴射剤
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ	74-98-6	10 ～ 20	噴射剤
n-ﾌﾞﾀﾝ	106-97-8	1 ～ 10	労安法通知対象物質　噴射剤

応急措置

目に入った場合	＊直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 ＊出来るだけ速く医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	＊付着物を布にてすばやく拭き取る。 ＊大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤、シンナーは使用しないこと。 ＊外観に変化がみられたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
吸入した場合	＊蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、 暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受ける。 ＊蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で 安静にし、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	＊誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 ＊嘔吐物は飲み込ませない。 ＊医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

火災時の措置

使用可能 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
消火剤

[消火方法]
＊適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。
＊可燃性のものを周囲から速やかに取り除く。
＊指定の消火剤を使用する。
＊高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。
＊消火活動は風上から行うこと。
＊エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分に取る。

漏出時の措置

＊作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
＊漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
＊付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。
＊付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。
＊着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
＊衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
＊乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸着させて回収する。大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。河川、排水溝、下水道に排出されないように注意する。
＊振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので注意して取り扱う。

取り扱い及び保管上の注意

[取り扱い上の注意]
＊換気の良い場所で取り扱う。 ＊容器はその都度キャップ(ストッパー)または密栓する。
＊周辺で火気、スパーク等の発火源となるものや高温物の使用を禁止する。
＊工業用品は静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
＊工具は火花防止型のものを使用する。＊作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
＊使用済みウエスは、廃棄するまで水に漬けておく。
＊40℃以上の所では取り扱わないこと。＊火気のあるところでは取り扱わないこと。
＊40℃以上に暖めないこと。
＊エアゾール製品の場合、30秒以上の連続使用をしないこと。(ただし、連続噴射式製品を除く)
＊密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着用する。
＊内容物を眼、皮膚に接触させないこと。
＊炎に向けて使用しないこと。

[保管上の注意]
＊日光の直射を避ける。 ＊通風の良いところに保管する。
＊火気、熱源から遠ざけて保管する。 ＊温度が40℃以上の所で保管しない。
＊水回りや高湿度の場所での保管は避ける。
＊ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。
＊子供の手の届かないところに保管する。

暴露防止及び保護処置

[管理濃度及び許容濃度]

物質名	管理濃度	許容濃度
ｲｿﾌﾞﾀﾝ ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ n-ﾌﾞﾀﾝ		 ACGIH(TLV):1000ppm ACGIH(TLV):800ppm ACGIH(TLV):1900(mg/㎥)

[設備対策]
＜共通＞
＊局所排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。
＊取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
＜工業用品の場合＞
＊取り扱い設備は防爆型を使用する。
＊屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
＊取り扱い場所の近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

[保護具]

呼吸系の保護具	＊スプレーを行う場合には適切な保護マスクを着用する。 ＊密閉された場所では送気マスクを着用する。
目の保護具	＊保護眼鏡を着用する。
皮膚・身体の保護具	＊有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の保護手袋を着用する。
その他の注意事項	＊着衣が内容物で濡れた場合、直ぐに取り替える。

物理的及び化学的性質

［原液］

状態	液体		
色	黄色透明	pH	—
臭い	特有臭	沸点	—
沸点範囲	データなし	融点	データなし
分解温度	データなし	密度	0.82±0.03g/cm³
発火点	200℃以上	引火点	74℃
蒸気密度	データなし	蒸気圧	データなし
爆発特性	データなし	その他	

［噴射剤］

状態	液体		
色	無色透明	沸点	—
臭い	無臭	融点	−187.75℃～−138.4℃
沸点範囲	−42.1～−0.5℃	密度	0.52g/cm³
分解温度	データなし	引火点	−104℃
発火点	405℃	蒸気圧	1.275～0.278MPa(40℃)
蒸気密度	1.895～2.538kg/m³(1atm15.6℃)	その他	
爆発特性	1.9～9.5%		

安定性及び反応性

反応性　条件（温度、光等）
＊エアゾール製品の場合40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。

安定性　接触により危険のある物質
＊酸化剤

燃焼等による有害ガス発生

有害性情報

物質名	IARC	その他有害性情報
ｲｿﾌﾞﾀﾝ ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ n-ﾌﾞﾀﾝ		

［組成物質に関するその他の有害性情報］

［製品に関する有害性情報］
＊製品としての安全性試験は行っていない。

環境影響情報

＊漏洩時及び廃棄等の際には、環境影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

廃棄上の注意

＊容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
＊エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。
＊エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。中身の入ったものは絶対に廃棄しない。また、ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。

輸送上の注意

＊共通　:取り扱い及び保管上の注意の項に従う。
:容器に漏れのないことを確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
:運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。
＊陸上運送　:消防法、労安法に定めるところに従う。
＊海上運送　:船舶安全法に定めるところに従う。
＊航空輸送　:航空法に定めるところに従う。
＊国連番号　:1950

適用法令

＊高圧ガス保安法　:適用除外項目対象
＊消防法　:第4類第3石油類　非水溶性　危険等級Ⅲ
＊船舶安全法　:危険物（高圧ガス）
＊航空法　:航空法に定めるところに従う。
＊労働安全衛生法　:施行令　危険物（可燃性のガス）

その他

主な引用文献
＊日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」
＊日本塗料工業会編集「MSDS作成ガイドブック」
＊各メーカー製品安全データシート

［注意］危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので、取り扱いには十分注意して下さい。